

ほけんだより 2023. 5

新年度のスタートから1ヵ月が経ちました。

子どもたちも新しい生活に慣れてきたようで毎日元気いっぱいです。

一方で疲れが出てきて体調を崩すお子さんも少なくありません。

風邪などこじらせないように睡眠時間を十分に取り、

お休みの日はご家族でゆっくり過ごして心身のリフレッシュができるようにしましょう♪



遅らせないで！子どもの予防接種と乳幼児健診

予防接種や乳幼児健診は、お子さんの健やかな成長のために

一番必要な時期に受けていただくよう、市区町村からお知らせしています。

詳しくは市のホームページにてご確認ください。

赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、重い感染症になる危険性が高まります。

お子さんの健康が気になるときだからこそ、

なぜ、予防接種や乳幼児健診を遅らせない方がよいの？

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。

特に、生後2か月から予防接種を受け始めることは、

お母さんからもらった免疫が減っていくときに、赤ちゃんがかかりやすい感染症(百日せき、細菌性髄膜炎など)から赤ちゃんを守るために、とても大切です。

乳幼児健診は、子どもの健康状態を定期的に確認し、相談する大切な機会です。

適切な時期にきちんと乳幼児健診を受け、育児で分からないことがあれば、

遠慮せずに医師、保健師、助産師などに相談しましょう。

予防接種を受けそびれた場合はどうすればいい？

受けそびれてしまった場合は、できるだけ早く受けましょう。

お子さんについて
気になることや不安なこと、ご質問など
担任や保育園にもいつでもご相談ください。



◇虫さされ予防について◇



刺された直後はすぐに洗い流す。

かいてしまうと傷から菌が入り悪化することやとびひになることがあります。

かき続けることで治りも悪くなってしまうので十分気をつけましょう。

◇園での蚊対策◇

- ・夕方(園児のいない保育室に)キンチョウ蚊がいなくなるスプレーを使用
- ・各保育室の窓に虫コナーズを使用
- ・0, 1クラスにアースノーマットを使用
- ・農園、蚊のいそうな園外に出かける際にはアースサラテクトを使用
- ※ 蚊よけプレスレットはアクセサリ感覚の子が多く、遊んでしまったり、
なくしてしまう子もいるので園にはつけて登園しないようお願いします。
- ・どうしても刺されやすく、対策をしたい方は服に貼るシールタイプのみOKとします。
○貼る場所→背中を目につかないところ(シールが気になりはがしてしまうため)
- ・蚊にさされてしまったら・・・
ベビームヒを使用
- ※ ムヒバッチは汗や水などではがれやすいため、園では使用しません。
- ※ サラテクトやベビームヒをお子さんに使用するのを控えたい方は担任までお知らせください。